

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102048		
法人名	都メディカル有限会社		
事業所名	グループホーム言の葉の家(1号館)		
所在地	静岡県浜松市東区貴平町571-1		
自己評価作成日	平成25年6月30日	評価結果市町村受理日	平成25年8月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kami=true&jiyosyoCd=2277102048-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所
所在地	静岡県葵区紺屋町5-8 マルシビル6階
訪問調査日	平成25年7月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周囲は水田に囲まれ四季の移り変わりを感じ取る事ができる。利用者が地域の中で自分らしく過ごす事ができ、また利用者にとって違和感のない居場所になるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

東名浜松インターチェンジをま近かに、緑まぶしい田園風景の中に事業所は立地しています。敷地内では毎年ナスやオクラなどの野菜を育てており、収穫期には食卓をにぎわす一品となっています。ギター演奏のボランティアと愛唱歌を歌ったり、帰宅願望のある利用者もジグソーパズルに深く入り込み我を忘れて興じる時間をもつなど、それぞれが思い思いの楽しみをもっています。また、職員が考案した方言遊びも好評で、刺激の一助になっています。ベテラン職員が多く、半数以上が介護福祉士の資格を有するなど、質の高いサービスが提供されると共に、職員間のチームワークも良く、明るい環境が出来上がっています。安心して生活が出来る場所と雰囲気作りに関心し、一人ひとりに合わせたケアを心がけ、利用者の思いに根気よく傾聴する姿に感銘を受けました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人が地域の中で自分らしく生きて行けるように私達は支援します	「地域の中で自分らしく生きていける」の理念が数ヶ所に掲示してあり、地域の人からは野菜作りなどのアドバイスがあるなど密着度合にその浸透が見られます。また、利用者の明るい笑顔に「寄り添いながら共同生活できる」ことへの実践が観えました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議や防災訓練に参加していただく	近所から全員に手作りストラップがプレゼントされたり、民生委員の防災訓練参加もあり日常的な交流が叶っています。演奏ボランティアや遠州一座による手品・踊り、中学校の職業体験も予定されるなど開設から十年余で培われた関係が多くみられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の認知症の方の受け入れを優先している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している	運営推進会議は自治会長、民生委員、行政、利用者などが参加し、隔月行われています。家族が参加し易いようにと、曜日の交互開催が工夫され、好評を得ています。会議では「防災訓練の毎月実施は反復効果もあり～」といった具体的な意見がもらえています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所には何度も行き来している。介護保険の更新時、運営推進会議への参加のお願い等をしに行っている	運営推進会議には行政職員の参加が毎回あり、区役所には議事録持参の他、地の利もあるため頻回に出向き気軽に相談できる関係にあります。毎月の介護相談員の訪問や、サポーター養成講座の実績もあり、行政との協力関係は日常化しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の定例会でAA課程を受け、話し合いをする職員全員マニュアルで再確認をしている	入浴時など見守りが手薄になる時間帯に安全のため玄関施錠を実施しています。出たい気配には声掛けし一緒に出掛けるなど、外出意欲を損なわない配慮をしています。スピーチロックについても繰り返し徹底が図られ減少がみられます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月定例会でAA課程を受け、話し合いをする		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前は利用していたが、現在はいない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	口頭だけでなく、すべて文書で説明している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族共に運営推進会議に参加。話す機会を設けている	面会などで家族意見を収束するほか、担当者会議への参加を積極的に勤めており、プランへの具体的な意見反映が叶うとともに、面会時には聞けない声も得ています。また、行事や誕生日毎に手書きの報告書を写真と共に送り、家族の安心に繋がっています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の定例会で意見交換をしている	毎日の全体カンファレンスでの情報はノートに詳細に網羅され全員で共有が図られています。EM液(コメの研汁をEM菌で発酵)は雑菌脱臭で清潔保持され、居間の椅子・机などの配置換えで気分転換ができたことなどは職員意見反映の賜物です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務希望は出来る限り応えている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時にA課程、B課程の受講、又年2回A課程の受講が義務づけられている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じグループ内での意見交換は常時行なっている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	1週間から1ヶ月を重点に、本人及び家族からお話を伺うようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	1週間から1ヶ月を重点に、本人及び家族からお話を伺うようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の心身の状態や、家族からの要望を聞いたうえで個別で対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	カルテや本人の話から得た情報を基に、その人らしく生きていける事を大切に支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時、本人、家族に声掛けをしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族より伺い、支援に努めている	友人の訪問も多く教え子と外食する利用者もいます。オクラ、ゴーヤなど野菜育ては収穫の喜びに繋がっています。ジグソーパズルに興じ、ベンチで煙草を楽しみ、ノンアルコールビールを本物と思いご満悦の利用者もいて、個人の想いが大切にされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人になったり孤立しない様にユニット間での行き来も自由にして交流を増やしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談された場合は必要に応じて対応するようにしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人又は家族から聞き取りをし、アセスメントシートにまとめている	本人へのさりげないアプローチや、家族からの丁寧な情報収集で意向の把握に努めています。入浴時での会話は、発語を優先して経過記録にとどめているため、家族も把握していなかった利用者の心の奥の理解にも繋がっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人又は家族から聞き取りをし、アセスメントシートにまとめている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	フェイスシートを使いまとめている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	情報共有する為常時カンファレンスを行い、3ヶ月に1度モニタリングを行っている	頻回なカンファレンスから得られる細部にわたる気付きや看護師意見も参考にして介護計画を作成し、変化時にはその都度変更をしています。また担当制を設けていて、モニタリングは計画作成担当が担当職員から聞き取りながらおこなっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録やADL表、カンファレンスノート等に記録し行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定例会で、出たアイデア等で取り組んでいる		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	あまり出来ていない		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	歯科、眼科、外科、内科と必要に応じ受診出来るよう提携している	従来からのかかりつけ医受診も多い中、利便性から事業所協力医に変更した利用者もいます。また、利用者や家族にとっては、週2回の看護師の訪問も安心となっています。家族介助の受診にはバイトルや経過記録のコピーを渡し、適切な受診に寄与しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回訪問看護に来てもらい相談し受診を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、情報用紙を作成し病院との連絡を常に取りようしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を大事にして方針をきめている	従前からなかった看取りを家族たつての希望で昨年初めて行い、実り多い経験となりました。今後とも、重度化に際しては家族や医師と密に協議し、家族から熱望されるであろう看取りへの備えを整える予定です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	対応マニュアルを作成し、周知するよう努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署と協力し防災訓練を行っている	5月の運営推進会議後には見学をお願いし、夜間想定を行いました。新しい目線での意見も挙がり、貴重な機会となりました。近隣の工場にも協力依頼を打診するほか、職員の防災実践感覚が育つことを目指し、毎月の防災訓練も視野に入れていきます。	今まで未実施であったAEDを使った蘇生訓練を加え、取り組みのねらいがさらに充実することを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重する声掛けをするようにしている	呼称には「～さん」を基本とし、入浴・トイレの同性介助にも応じていて利用者尊重の姿勢が覗えます。接遇を重要視し本部からのウェブ研修をダウンロードして皆で話し合い、職員の意識継続に配慮した取り組みがみられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の自己決定を尊重し、自分の希望を言い合えるような声掛けを心掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の活動を優先し介護サービスを心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の着たい服を着れるような声掛け、常に清潔な身だしなみを心掛けている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きや食器拭き、洗濯干し、洗濯たみを自主的にしている	美味しい食事にテレビを消し集中する中、「たくさん食べておなかがいっぱい」の声も漏れます。片づけも一緒に行い生活の中で役割を担う仕組みがあります。副食は土・日曜以外は業者利用ですが、パン食の日も設けバラエティーのある食生活が営まれています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状態に合わせた食事形態にすることで、必要な栄養を取れるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の状態に合わせ、必要に応じ声掛け見守り介助をし、口腔ケアを行っている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、トイレ誘導や声掛けをして自立した排泄に向けて支援している	排泄パターンをチェック表で把握し、さりげない声かけや定期的な排泄誘導をおこなっています。おむつやパット使用者が多い中、自力でパットの取り換えが叶った利用者もいます。一括購入やパットの再検討など家族の負担軽減にも努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	副食や汁物に野菜を多く取り入れている。医師の指示に従い水分補給や服薬による対応をしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は本人の希望を優先している。又、入浴の順番も考慮している	入浴は毎日準備があり希望に応えることができますが、大半は1日おきの入浴です。大きめのタイル風呂はミニ銭湯的な雰囲気があり、3人位でもゆったり入浴が出来、自然と話も弾みます。個浴希望や同性介助にも応じ、自由度の有る入浴が楽しめています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思や今までの生活を尊重し、危険がないように注意しながら本人のペースでの生活を心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の情報に目を通し、症状に変化があればADLに記録をし、必要に応じ医師の指示を仰ぐようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	草取りや水撒き、散歩や外気浴を楽しんでいるテーブル拭きや食器拭き、洗濯干し、洗濯たたみを自主的にしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コンビニエンスストアへ散歩を兼ねて買い物をする。年数回季節に合わせて遠足やドライブを行っている	向日葵畑や万葉の森公園など、近隣へドライブで外出レクを楽しんでいます。また、年2回恒例の紅葉狩りや花見は、握り弁当持参でさらに行楽感を高めています。散歩コースにあるコンビニでは、おでんや煙草など嗜好品の買い物の楽しみもあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはホームで預かっている。職員と一緒に買い物へ行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	常に本人の希望で出来る		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは天井が高く開放感があり、季節感を持ってもらうために絵等を貼りだしている	共用空間は平屋づくりのため高い天井で開放感に満ちています。ジグソーパズルや手作りの作品が飾られ、願いが込められた七夕飾りが季節感を醸し出しています。EM培養液での手すり除菌や毎朝の掃除、換気で清潔保持に努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはTV、ソファ等があり、新聞を見たりお話をしたり、パズルをする等自由に過ごす事が出来る		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたドレッサー、ダンス等を持ってきて使っている	居室にはベッド、カーテン、洗面台、押入れ、エアコンが、また手摺バーも備えられています。美顔ローラーや足マッサージ機を持ち込む利用者もいて家庭そのままの暮らしが覗えます。居室の掃除を一緒にする利用者もいて、自分の城意識も高まっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の能力に応じた環境を作り、安全に配慮し生活していただいている		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102048		
法人名	都メディカル株式会社		
事業所名	グループホーム言の葉の家 (2号館)		
所在地	静岡県浜松市東区貴平町571-1		
自己評価作成日	平成25年6月30日	評価結果市町村受理日	平成25年8月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=227

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡県葵区紺屋町5-8 マルシビル6階		
訪問調査日	平成25年7月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周囲は水田に囲まれ四季の移り変わりを感じ取る事ができる。利用者が地域の中で自分らしく過ごす事ができ、また利用者にとって違和感のない居場所になるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

東名浜松インターチェンジをま近かに、緑まぶしい田園風景の中に事業所は立地しています。敷地内では毎年ナスやオクラなどの野菜を育てており、収穫期には食卓をにぎわす一品となっています。ギター演奏のボランティアと愛唱歌を歌ったり、帰宅願望のある利用者もジグソーパズルに深く入り込み我を忘れて興じる時間をもつなど、それぞれが思い思いの楽しみをもっています。また、職員が考案した方言遊びも好評で、刺激の一助になっています。ベテラン職員が多く、半数以上が介護福祉士の資格を有するなど、質の高いサービスが提供されると共に、職員間のチームワークも良く、明るい環境が出来上がっています。安心して生活が出来る場所と雰囲気作りに腐心し、一人ひとりに合わせたケアを心がけ、利用者の思いに根気よく傾聴する姿に感銘を受けました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人が地域の中で自分らしく生きて行ける様に私達は支援します	「地域の中で自分らしく生きていける」の理念が数ヶ所に掲示してあり、地域の人からは野菜作りなどのアドバイスがあるなど密着度合にその浸透が見られます。また、利用者の明るい笑顔に「寄り添いながら共同生活できる」ことへの実践が観えました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方に防災訓練に参加して頂く	近所から全員に手作りストラップがプレゼントされたり、民生委員の防災訓練参加もあり日常的な交流が叶っています。演奏ボランティアや遠州一座による手品・踊り、中学校の職業体験も予定されるなど開設から十年余で培われた関係が多くみられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の認知症の方の受け入れを優先している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度開催している	運営推進会議は自治会長、民生委員、行政、利用者などが参加し、隔月行われています。家族が参加し易いようにと、曜日の交互開催が工夫され、好評を得ています。会議では「防災訓練の毎月実施は反復効果もあり～」といった具体的な意見がもらえています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所には何度も行き来している	運営推進会議には行政職員の参加が毎回あり、区役所には議事録持参の他、地の利もあるため頻回に出向き気軽に相談できる関係にあります。毎月の介護相談員の訪問や、サポーター養成講座の実績もあり、行政との協力関係は日常化しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の定例会にてAA課程を受けて取り組んでいる	入浴時など見守りが手薄になる時間帯に安全のため玄関施錠を実施しています。出たい気配には声掛けし一緒に出掛けるなど、外出意欲を損なわない配慮をしています。スピーチロックについても繰り返し徹底が図られ減少がみられます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の定例会にてAA課程を受けて職員一人一人が注意して防止に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度を2名利用している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	口頭だけでなくすべて文書で説明して同意を得ている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族共に運営推進会議に参加して頂き、話す機会を設けている	面会などで家族意見を収束するほか、担当者会議への参加を積極的に勤めており、プランへの具体的な意見反映が叶うとともに、面会時には聞けない声も得ています。また、行事や誕生日毎に手書きの報告書を写真と共に送り、家族の安心に繋がっています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の定例会やカンファレンスを通して意見交換している	毎日の全体カンファレンスでの情報はノートに詳細に網羅され全員で共有が図られています。EM液(コメの研汁をEM菌で発酵)は雑菌脱臭で清潔保持され、居間の椅子・机などの配置換えで気分転換ができたことなどは職員意見反映の賜物です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務希望は出来る限り応えている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時のA、B課程を受講、又K課程などスキルアップの取り組みがある		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じグループ内での意見交換は随時行なっている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族からお話を伺うようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や電話にてコミュニケーションをとっている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の心身の状態や、家族からの要望を聞いたうえで個別に対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	基本情報をもとにコミュニケーションをはかりその人らしい生き方が出来るように支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話にてより良い関係が保たれるように声掛けしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族に伺い支援に努めている	友人の訪問も多く教え子と外食する利用者もいます。オクラ、ゴーヤなど野菜育ては収穫の喜びに繋がっています。ジグソーパズルに興じ、ベンチで煙草を楽しみ、ノンアルコールビールを本物と思いご満悦の利用者もいて、個人の想いが大切にされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の時間も大切にしながら、外気浴やレクリエーションには参加を促し利用者同士の関わりも大切にしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、来設して頂く家族もおられます。他にも相談があれば対応している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族から聞き取りして、本人の思いや意向の把握に努めている	本人へのさりげないアプローチや、家族からの丁寧な情報収集で意向の把握に努めています。入浴時での会話は、発語を優先して経過記録にとどめているため、家族も把握していなかった利用者の心の奥の理解にも繋がっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から聞き取りをして把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人や家族から聞き取りをして把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスにて話し合い作成している 三ヶ月に一度モニタリングをしている	頻回なカンファレンスから得られる細部にわたる気付きや看護師意見も参考にして介護計画を作成し、変化時にはその都度変更をしています。また担当制を設けていて、モニタリングは計画作成担当が担当職員から聞き取りながらおこなっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や経過記録に様子を記入して情報の共有をはかり日々のケアに役立てている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職場会議や日々の生活の中で出たアイデアを反映できるように努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全に豊かな暮らしができるように努めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の協力も得ながら、必要に応じて受診できるようにしている	従来からのかかりつけ医受診も多い中、利便性から事業所協力医に変更した利用者もいます。また、利用者や家族にとっては、週2回の看護師の訪問も安心となっています。家族介助の受診にはバイトルや経過記録のコピーを渡し、適切な受診に寄与しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週二回訪問看護に来て頂き相談して、受診を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、情報用紙を作成し、病院との連絡を常に取り合っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を大事にして方針を決めている	従前からなかった看取りを家族たつての希望で昨年初めて行い、実り多い経験となりました。今後とも、重度化に際しては家族や医師と密に協議し、家族から熱望されるであろう看取りへの備えを整える予定です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	対応マニュアルを作成し、周知するよう努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回消防署や地域の方に協力して頂き防災訓練を行なっている	5月の運営推進会議後には見学をお願いし、夜間想定を行いました。新しい目線での意見も挙がり、貴重な機会となりました。近隣の工場にも協力依頼を打診するほか、職員の防災実践感覚が育つことを目指し、毎月の防災訓練も視野に入れていきます。	今まで未実施であったAEDを使った蘇生訓練を加え、取り組みのねらいがさらに充実することを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重する声掛けをするようにしている	呼称には「～さん」を基本とし、入浴・トイレの同性介助にも応じていて利用者尊重の姿勢が覗えます。接遇を重要視し本部からのウェブ研修をダウンロードして皆で話し合い、職員の意識継続に配慮した取り組みがみられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の自己決定を尊重し、自分の希望を言えるような声掛けをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人中心の介護サービスを心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服等、本人の着たい服を着れるような声掛けをしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器拭きなどをしている	美味しい食事にテレビを消し集中する中、「たくさん食べておなかがいっぱい」の声も漏れます。片づけも一緒に行い生活の中で役割を担う仕組みがあります。副食は土・日曜以外は業者利用ですが、パン食の日も設けバラエティーのある食生活が営まれています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状態に合わせた食事形態にすることで、必要な栄養を取れるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の状態に合わせ、必要に応じ見守り介助をし、口腔ケアを行っている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、トイレ誘導や声掛けをして、自立した排泄に向けて支援している	排泄パターンをチェック表で把握し、さりげない声かけや定期的な排泄誘導をおこなっています。おむつやパット使用者が多い中、自力でパットの取り換えが叶った利用者もいます。一括購入やパットの再検討など家族の負担軽減にも努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師の指示に従い水分補給や服薬による対応をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は本人の希望を優先している。又入浴の順番も考慮している	入浴は毎日準備があり希望に応えることができますが、大半は1日おきの入浴です。大きめのタイル風呂はミニ銭湯的な雰囲気があり、3人位でもゆったり入浴が出来、自然と話も弾みます。個浴希望や同性介助にも応じ、自由度の有る入浴が楽しめています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思や今までの生活を尊重し危険がないよう注意しながら本人のペースでの生活を心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の情報に目を通し、病状の変化があれば経過記録に記録し必要に応じ医師の指示を仰ぐようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や外気浴、毎月の行事を楽しんでいる		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年数回、季節に合わせた遠足やドライブを行なっている	向日葵畑や万葉の森公園など、近隣へドライブで外出レクを楽しんでいます。また、年2回恒例の紅葉狩りや花見は、握り弁当持参でさらに行楽感を高めています。散歩コースにあるコンビニでは、おでんや煙草など嗜好品の買い物の楽しみもあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、ホームで預かっている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば行なう		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を持ってもらうために絵等を貼りだしている	共用空間は平屋づくりのため高い天井で開放感に満ちています。ジグソーパズルや手作りの作品が飾られ、願いが込められた七夕飾りが季節感を醸し出しています。EM培養液での手すり除菌や毎朝の掃除、換気で清潔保持に努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファ、テレビがあり、新聞をみたり、お話をしたり自由に過ごすことが出来る		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたダンス等持ってきて使っている	居室にはベッド、カーテン、洗面台、押入れ、エアコンが、また手摺バーも備えられています。美顔ローラーや足マッサージ機を持ち込む利用者もいて家庭そのままの暮らしが覗えます。居室の掃除を一緒にする利用者もいて、自分の城意識も高まっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の能力に応じた環境作り、安全に配慮し生活して頂いている		